

自然ふれあい講座を行いました

今年度の「自然ふれあい講座」は、5月の軽井沢町から始まり、2月の戸隠高原まで12回開催し（雨天中止1回）、計184名の方にご参加いただきました。講座にご参加いただいた方々、また、講座の開催にあたって共催や協力、後援をいただいた方々に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

講座の様子として、ここでは、今年度後半に行われた講座から、1月26日に長野市で開催された「雪を楽しむ観察会」の様子をご紹介します。

来年度も、「自然ふれあい講座」を計画しています。巻末のお知らせをご覧ください、ぜひお気軽にご参加ください！
(尾関雅章)

平成24年度 第10回～第13回 自然ふれあい講座 実施状況

| テーマ | 開催日時 | 開催場所 | 参加者数 |
|------------------------|----------------------|------------|------|
| 10 押し葉で学ぶ、植物分類講座～カエデ編～ | 9/22 (土) 9:00～12:00 | 飯綱庁舎 (長野市) | 11 |
| 11 自然史王国信州を歩く～戦国編～ | 11/10 (土) 9:30～12:00 | 上田城址 (上田市) | 14 |
| 12 雪を楽しむ観察会 | 1/26 (土) 10:00～12:00 | 飯綱高原 (長野市) | 10 |
| 13 月夜の雪原を歩く | 2/23 (土) 17:00～21:00 | 戸隠高原 (長野市) | 8 |
| | | 合計 | 43 |

自然ふれあい講座報告「第12回：雪を楽しむ観察会」

日時：2013年（平成25年）1月26日 10時～12時

担当：浜田 崇・富樫 均

長野市飯綱高原にある環境保全研究所飯綱庁舎（標高約1000m）の敷地内で、雪の結晶と積雪の断面の観察を行いました。当日は朝から雪がどンドンと降り積もる天候でしたが、長野市や白馬村などから10名の方々に参加していただきました。

雪の結晶は、それができるときの大気中の温度と水蒸気量によって、少しずつ形が異なります。中でも六角の角に枝が張りだした樹枝状の結晶はよく知られています。講座では、樹枝状の結晶とそれがくっつきあつたきれいな雪片を観察することができました。観察には顕微鏡を使いました。雪の結晶が立体的にくっきりと見え、参加者の方々はみなその美しさに感動されたようです。

続いて、スノーシューを履いて、積雪断面の観察場所へ移動しました。110cmも積もった雪を掘り、人が3人ほど入れるスペースをつくって、その中で積雪の断面を見て触って観察しました。雪の表面が融けた後に固まった氷板があることや、新雪からしまり雪、ざらめ雪へと変化する様子などがよくわかりました。積雪の断面を観察することで、雪が積もり始めてからの降積雪の履歴を読み解けることや、雪の保温効果によって雪の底

がもっとも暖かい（0℃）ことなどを解説しました。

雪は冬の日常の景色に埋もれがちですが、きれいな雪の結晶を見たり、積もった雪の性質を調べたりしながら、いつもと違った角度から雪を楽しんでいただけたのではないかと思います。寒さを忘れての、あっという間の2時間でした。



雪の穴の中で積雪の断面を触りながら観察している様子

